

1974年2月より、7月までに神戸労災病院泌尿器科に来院した患者35例を対象にした。その内訳は男子18例、女子17例で、疾患別では特発性腎出血8例、腎盂腎炎・膀胱炎などによる出血6例、膀胱腫瘍・尿道カ

Table 1. S-Adchnon 臨床使用成績

症 例	性	年齢	病 名	主 訴	投与前尿所見		投 与 量			投与後尿所見		併 用 薬	効 果	副作用
					赤血球	蛋 白	1 日 量	日 数	総 量	赤血球	蛋 白			
1. S.T.	男	24	左特発性腎出血	肉 眼 的 血 尿	100~ 200/F	50mg/dl	180 mg	7 日	1260 mg	200~ 300/F	50mg/dl	Keflex Gastropylor	6 cap 4.0	無 効 (—)
2. H.M.	女	32	"	"	100~200	50	270 360	4 12	5400	(—)	(—)	Neomysen Voltaren Hi—Z	6 cap 3 tab 3 tab	著 効 (9 日 目 で 清 澄 となる)
3. T.Y.	女	37	"	"	(卅)	200	270	3	810	(卅)	30	Wintomylon Gastropylor	6 tab 3.0	無 効 (—)
4. A.O.	女	46	"	"	300↑	50	360	15	5400	150~200	30	Neomysen Nonflamin	3 cap 3 cap	有 効 (—)
5. H.H.	男	49	"	"	500↑	200	360 270	5 4	2880	80~100	100	Neomysen AP2 Gastropylor	6 cap 2.0 3.0	" (—)
6. M.O.	男	51	右特発性腎出血	"	300↑	(—)	360	11	3960	(—)	(—)	Natacillin AP2 Voltaren	6 cap 2.0 62	著 効 (—)
7. S.S.	男	52	左特発性腎出血	"	300~500	1000	270 360	3 4	2310	100~200	50	Neomysen Voltaren	6 cap 62	無 効 (—)
8. S.H.	女	57	"	"	300~500	1000	360	5	1800	200	80	Viccillin S AP2 Gastropylor	6 tab 2.0 3.0	" (—)
9. E.K.	女	21	急性腎盂腎炎 慢性膀胱炎	排 尿 的 痛 尿 肉 眼 的 血 尿	(卅)	100	360 180	1 4	1080	(—)	(—)	Keflex Sedes Burfen	6 cap 1.0 6 tab	著 効 (—)
10. S.H.	女	25	慢性腎盂腎炎 慢性膀胱炎	排 尿 的 痛 尿 頻 尿・血 尿	50~100	痕 跡	180	7	1260	2~3	(—)	Penbritin Padrin	6 cap 6 tab	" (—)
11. T.T.	男	57	慢性膀胱炎	血 尿	150~200	痕 跡	180	14	2520	(—)	(—)	Viccillin S Hi—Z Gastropylor	6 tab 3 tab 3.0	" (—)
12. M.I.	男	70	"	"	30~50	痕 跡	270	8	2160	5~6	痕 跡	Neomysen Resmit Nonflamin	6 cap 15 mg 6 cap	有 効 (—)
13. Y.N.	男	74	"	排尿痛・血 尿	5~6	(—)	180	14	2520	5~10	(—)	Penbritin Hi—Z AP2	6 cap 3 tab 2.0	無 効 (—)
14. K.I.	男	77	" (前立腺肥大症)	血尿・排尿困難	10~20	20	180	7	1260	2~3	15	Paraprost Panacid	6 cap 6 cap	有 効 (—)
15. H.K.	男	57	膀胱腫瘍	排尿痛・血 尿	10~15	(—)	90	7	630	0~1	(—)	Glucaron Neomysen	6 tab 3 cap	" (—)
16. T.M.	女	60	"	排 尿 的 痛 尿 頻 尿・血 尿	20~30	30	180	7	1260	(—)	(—)	Irgapyrin soft Viccillin S Hi—Z	6 tab 6 tab 3 tab	著 効 (—)

17. I.M.	男	60	膀胱腫瘍 (尿道狭窄)	血尿	50~60	(一)	180	7	1260	(一)	(一)	Solcillin	6 cap	著効	(一)
18. N.I.	女	66	尿道カルンケル	外尿道口よりの出血	パンツに血液の 附着(中等量)		180	5	900	パンツに血液の附 着やや少量あり		Wintomylon Voltaren	6 tab 3 tab	無効	(一)
19. H.K.	男	62	左水腎症 左腎出血	肉眼的血尿	50~100	30	270 180	4 7	2340	(一)	30	Natacillin AP2	6 tab 2.0	有効	(一)
20. K.Y.	男	20	慢性膀胱炎	膀胱鏡検査後の 出血	パンツに血液の 附着(中等量)		180	7	1260	1日で出血とまる		Uropol Padrin Resmit	6 tab 6 tab 3 tab	著効	(一)
21. K.T.	男	18	慢性腎炎	蛋白尿	13~15	300	180	28	5040	(一)	200	Leftose Ali F Reserpin	6 tab 75 mg 0.1 mg	有効	(一)
22. S.O.	女	19	"	"	0~1	300	180	28	5040	0~1	300			無効	(一)
23. H.T.	女	22	"	"	10~20	30	180	28	5040	5~6	20	Ali F Leftose	75 mg 6 tab	"	(一)
24. S.I.	女	24	"	"	5~6	100	180	28	5040	(一)	30	Glycyron Neurovitan Cepol	6 tab 6 tab etc.	有効	(一)
25. Y.O.	女	26	"	"	1~2	100	270	14	3780	3~4	150	Ali F Chondron Viccillin S	75 mg 2.0 6 tab	無効	(一)
26. K.S.	男	28	"	"	0~1	300	180	21	3780	0~1	30	Ali F Glycyron Contol	75 mg 6 tab 15 mg	有効	(一)
27. Y.O.	男	31	"	"	15~20	100	180	7	1260	(一)	100	Keflex Nonflamin Gastropyllore	6 cap 6 cap 3.0	"	(一)
28. K.A.	女	31	"	"	0~1	300	270	21	5670	0~1	80	Ali F Glycyron	75 mg 3 tab	"	(一)
29. K.F.	男	37	"	"	0~1	150	180	63	11380	0~1	100	Ali F Glycyron	75 mg 6 tab etc.	無効	(一)
30. K.O.	男	39	"	"	0~1	200	180	35	6300	0~2	30	Glycyron Ali F Capilan	6 tab 75 mg 3 cap etc.	有効	(一)
31. M.M.	女	40	右遊走腎	"	5~6	100	180	21	3780	(一)	30	Panacid Empynase	6 cap 6 cap	"	(一)
32. S.I.	男	48	"	"	10~20	痕跡	270	8	2160	5~6	痕跡	Neomyson Nonflamin Gastropyllore	6 cap 6 cap 3.0	無効	(一)
33. K.N.	女	49	右水腎症	"	5~6	150	180	17	3060	0~1	50	Panacid Hi-Z	3 cap 3 tab	有効	(一)
34. S.I.	女	55	右遊走腎	"	0~1	20	180	14	2520	0~1	(一)			著効	(一)
35. S.K.	女	57	"	血尿	20~30	痕跡	270	10	2700	0~2	(一)			"	(一)

ルンケルなどによる出血4例，膀胱鏡検査後の出血1例，慢性腎炎10例，水腎症，遊走腎などによる出血または蛋白尿6例であった。

投与方法・期間

1日 90～360 mg，3～63日間症例に応じて経口投与をした。併用薬剤はできるだけさけたかったが，一部を除いて使用した。

効果判定基準

「S-Adchnon」の性状より，尿中赤血球，蛋白の変動について観察した。

著効：赤血球・蛋白の完全に消失したもの。

有効：赤血球あるいは蛋白のいずれか一方の消失したもの，あるいは一方のみ投与前認め，のちに著明に改善されたもの。

無効：両者の消失あるいは改善の認められなかったもの。

臨床使用成績

上記35症例に使用し，著効10例，有効14例，無効11例で，有効率68.7%であった（Table 1, 2）。特発性腎出血では，著効を呈したものの2例，有効2例，無効4例であった。投与量は1日 180～360 mg，3～16日間であった。

腎盂腎炎，膀胱炎などの炎症による出血では，著効3例，有効2例，無効1例で，投与量は1日 180～360 mg，5～14日間であった。

膀胱腫瘍，尿道カルンケルなどによる出血では，著効2例，有効1例，無効1例で，投与量は1日 90～180 mg，5～7日間であった。

膀胱鏡検査後の出血では，1日 180 mg 投与で，翌日には比較的多量に出ていた出血も止まり，著効であった。

慢性腎炎症例10例中，有効6例，無効4例で，投与量は1日 180～270 mg で，7～63日間であった。

Table 2. 疾患別の治療成績

	著効	有効	無効
特発性腎出血	2	2	4
炎症による出血	3	2	1
腫瘍による出血	2	1	1
検査後の出血	1	0	0
腎炎	0	6	4
その他の疾患による出血・蛋白尿	2	3	1
計	10	14	11

そのほか，水腎症，遊走腎の症例で，血尿あるいは蛋白尿の6例では，著効2例，有効3例，無効1例で，投与量は1日 180～270 mg で，8～21日間であった。

特発性腎出血，慢性腎炎症例18例を除いた17例では著効8例，有効6例，無効3例，有効率82%と比較的優秀な成績をえた。

副作用

本剤の投与による自覚的な副作用の訴えはなかった。

他覚的なものとして，本剤投与前，後の赤血球，白血球，Ht，Hb，血小板，出血時間，凝固時間を測定した。これらのうちの一部に血清蛋白，GOT，GPT，アルカリフォスファターゼ，BUN を測定した（Table 3）。

赤血球では，19例中症例1，24，34に減少を，症例6に増加を認めた。血小板では，著明な変動はなかった。出血時間では，延長したと考えられる症例2，20，26，30，短縮したと考えられる症例4，16，22，凝固時間では，延長した症例2，6，7，23，短縮した症例35であった。また，血清蛋白，GOT，GPT，アルカリフォスファターゼ，BUN には変動を認めなかった。

考 察

蛋白尿の成因に関与する腎性因子としては，1) 糸球体毛細管壁の蛋白透過性，2) 尿管管における蛋白再吸収障害が考えられており，腎性血尿では糸球体の基底膜の断裂破壊であるといわれているが，これらに対して，決定的な治療法のない現在，種々の薬剤が経験的に使用されており，S-Adchnon 製剤も，これら蛋白尿，血尿の治療に役だつと考えられる。そこで，私たちは，本剤を慢性腎炎，特発性腎出血に使用した。

また，腎盂腎炎，膀胱炎，膀胱腫瘍，尿道カルンケル，膀胱鏡検査後，水腎症，遊走腎にて血尿あるいは蛋白尿をきたす症例にも使用した。

全体的には有効率68.7%であったが，腎疾患における蛋白尿，血尿に対して決定的な治療法のない現状では，特発性腎出血，慢性腎炎症例が18例あるため，しかたがないと思われる。

それに反して，その他の疾患による出血，蛋白尿に対しては82%と優秀な成績がえられた。

副作用に関しては，急性毒性で，マウスに最大量 3,500 mg/kg を投与しても，なんら症状を認めなか

Table 3. S-Adchnon 投与前・後の諸検査成績

症 例	投与量 mg	赤血球 ×10 ⁴ / mm ³	白血球 /mm ³	Ht %	Hb g/dl	血小板 ×10 ⁴ / mm ³	出血時間 分・秒	凝固時間 分・秒	血清 蛋白 g/dl	GOT K. U.	GPT K. U.	アルカリ フォスフ ァターゼ K. A.	BUN mg/dl
1. S. T.	1260	B 525 A 455	4900 4700	43 41.5	15.5 13.7	24.2 18	3. 3.	9.30 9.	8.6 8.5	34 32	24 26		11.8 13
2. H. M.	5400	B 440 A 468	8000 9300	38 40	12.6 13.5	19.4 19.4	1. 3.30	3.30 8.	7.5 8.6	10 22	18 17		12.5 15.3
4. A. O.	5400	B 414 A 406	6500 6000	38.5 37	12.7 12		4.30 3.	8. 8.					
6. M. O.	3960	B 406 A 470	4300 4700	41 42	14.6 14.4	18.4 23.8	2. 2.30	8. 10.					
7. S. S.	2310	B 427 A 420	8000 7000	38 39	12.5 12.9	29 21	1.30 1.30	7.30 9.30	8.0 7.5	22 17	15 15	13.5 11.6	18.3 12.7
10. S. H.	1260	B 462 A 470	5800 6000	39.5 41.5	13.3 14.1	20 18	2.30 2.	10. 9.					
16. T. M.	1260	B 341 A 360	5000 6000	31 33	10.5 11.3	13.2 14	5.30 3.	9. 9.30	7.2 7.1	27 25	18 20		12.5 10.5
20. K. Y.	1260	B 469 A 430	6400 5500	41 38	13.5 13.7	41.6 31.6	1. 3.30	8.30 8.30					
22. S. O.	5040	B 463 A 455	9500 8000	38.5 38	13.6 12.9	34 28	5.30 2.30	8. 9.	9.6 8.3	37 30	26 28	6.3 7.0	11.2 15
23. H. T.	2520 投与時	B 410 A 411	6800 6300	37.5 37	13.3 12.5	21 24.6	3. 3.	7.30 8.					
24. S. I.	5040	B 460 A 401	6200 5400	37.5 35.5	12.7 11.7	28.8 20.8	3. 2.	7. 8.	7.8 7.4	17 7	8 10		11.2 11.5
26. K. S.	3780	B 561 A 576	7000 7100	51 51	16.4 15.7	16.8 17.4	1.30 3.	8. 9.	8.1 8.4	20 16	20 20		13.4 12.7
27. Y. O.	1260	B 445 A 460	5600 5200	40.5 41.3	13.7 13.9	10.8 12	4. 3.	8. 8.	8.2 8.2	30 34	24 20	6.7 7.0	22.4 18
29. K. F.	6300 投与時	B 556 A 530	7500 7000	47 44	16.2 15.6	25 21.5			8.0 8.2	28 30	19 15		14 11
30. K. O.	6300	B 442 A 426	5100 6000	39.5 38	13.3 12.9	27 28.6	1.30 3.	8. 9.	8.1 8.4	20 16	20 20	16.6 16.5	13.4 12.7
31. M. M.	3780	B 426 A 416	6700 7000	36.5 35.5	13.5 12.8	17.8 21.6			7.4 7.6				9.0 10.4
32. S. I.	2160	B 525 A 500	5600 6000	43 42	15.2 14.8	24 21			9.0 9.0	22 18	18 18		20.2 16.0
34. S. I.	2520	B 520 A 451	8400 6700	45 42	15.2 13.5	21.6 19.8	3. 2.30	9.30 9.	8.2 8.4	28 20	16 15		13.6 13.2
35. S. K.	2700	B 413 A 405	7200 7000	38 37	12.5 12	26.4 20	1.30 2.	16. 9.	8.2 8.1	16 20	17 13	10.2 11	16.6 18

B : Before A : After

ったと報告されている。私たちの症例でも、自覚的には、なんらの副作用も認められなかった。とくに総量 11,380 mg 投与した症例も同様であった。

他覚的には家兎耳の血管における出血時間を短縮し、血液凝固時間にはなんら影響を与えないと報告されているが、私たちの症例で、測定した症例16例中、投与後、出血時間の延長したもの4例、短縮したもの1例であった。

結 語

特発性腎出血8例、腎盂腎炎・膀胱炎による出血6例、膀胱腫瘍・尿道カルンケルなどによる出血4例、

膀胱鏡検査後の出血1例、慢性腎炎10例、水腎症、遊走腎などによる出血または蛋白尿6例、計35例に「S-Adchnon tablets 30」を投与し、著効10例、有効14例、有効率68.7%の成績をえた。

自覚的な副作用は全例に認められなかった。他覚的には、本剤投与前、後の出血・凝固時間の延長、短縮を少数例に認めたが、肝機能、BUN にはなんら変動を認めなかった。

参 考 文 献

S-Adchnon 錠文献集。

(1974年10月29日受付)